



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここにOKB大垣共立銀行の第212期中間期における営業の概要をご報告申し上げます。

当上半期の日本経済は、緩やかに回復しました。個人消費は、5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが変更され、経済活動の正常化が進展したことや旅行支援などの政策効果もあり着実な回復が見られます。企業においては企業収益が記録的な高水準にあることを背景に、デジタル化や脱炭素化などへの対応のための設備投資が緩やかに増加しています。東海地方においては、主要産業である自動車産業は半導体不足の影響が和らいだことから、高水準の生産を継続しています。

このような経営環境のもと、OKB大垣共立銀行は中期経営計画「Let's Do It! ～社員輝き 地域伸びゆく～」の最終年度として「営業力」や「お客さまとの接点」の強化、「業務プロセス改革」をより一層推し進めてまいりました。また、地域のサステナビリティを巡る課題解決をはじめ、事業承継や業務のDXなどの経営課題解決のサポートにきめ細かく対応するなど、OKBグループ一体となってコンサルティング型のビジネスモデルを展開してまいりました。

OKB大垣共立銀行グループはこれからも、「地域に愛され、親しまれ、信頼されるOKB」を念頭に、“お客さまの共感と感動を呼び、地域に必要とされる企業グループ”を目指し、挑戦を続けてまいります。

Fight! ～挑戦、その先へ～

皆さまにおかれましては、引き続きより一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月

取締役頭取 境 敏幸

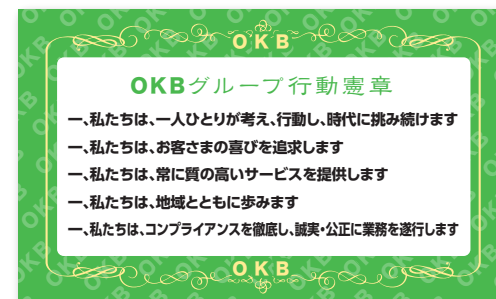
〈撮影場所〉OKB岐阜中央プラザ わくわくベースG (→P5)

経営の基本理念

「地域に愛され、親しまれ、信頼される銀行」

1896年3月（明治29年）、第百二十九国立銀行の業務を継承して創立した際、それまでの「士族による士族のための銀行」から、「農・工・商が共に協力して設立しよう」と「大垣共立銀行」が誕生しました。

その想いを引き継ぎ、“地域とともに”“お客さま目線”を第一に、真にお客さまにとって必要な存在となるよう、「地域に愛され、親しまれ、信頼される銀行」として、これからも地域の皆さまと共に歩んでまいります。



C O N T E N T S

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 TOP MESSAGE | 9 TOPICS.4 環境保全・SDGs推進 |
| 2 経営の基本理念 | 10 TOPICS.5 DX推進に向けた取り組み |
| 3 営業の概況 | 11 特集 資産のことならOKBへ!! |
| 4 サステナビリティ基本方針 | 15 決算情報 |
| 5 TOPICS.1 OKBの新たな店舗 | 19 株主情報 |
| 6 TOPICS.2 新たな産業創出に向けて | 21 会社概要 |
| 7 TOPICS.3 地方創生に向けた取り組み | 22 お問い合わせ一覧 |

本誌に掲載している商品・サービスなどは、一部を除き2023年9月30日現在のものです。詳細については、パンフレットやホームページをご参照いただくか、店舗窓口へお問い合わせください。

<ホームページアドレス><https://www.okb.co.jp>

